



新時代そうま
山中宣明 議員
が問う！

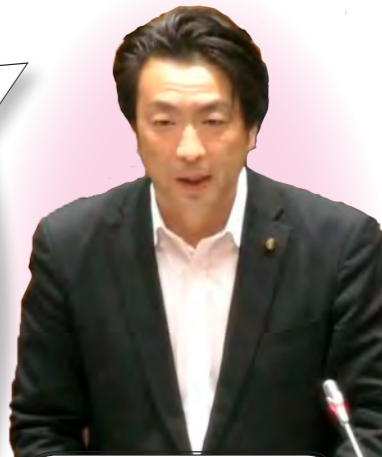
東京電力に対し、
相馬市への相談窓口設置を
強く要望すべき!!

東京電力への対応について

A L P S 処理水海洋放出が開始された。今後、市の基幹産業である漁業などにおいて、風評被害に関する相談件数の増加が見込まれるため、早期の窓口設置が必要と考え、質問する。

Q. A L P S 処理水海洋放出に伴う相談窓口設置を東京電力に強く働きかけるべきと考えるが、市長の所見を求めたい。

A. 市は、A L P S 処理水の海洋放出に伴う賠償相談窓口の市内設置について、現時点では、市



にし
横山和雄 議員
が問う！

誘致企業の今後のスケジュールは
どのようになっているのか!!

企業誘致について

地方においては、特に人口減少や労働力不足、財政難など、重い課題を抱える自治体が多い。企業誘致は新たな雇用創出や税収の増加などの様々なメリットによる課題解消の一つの手段としてほとんどの自治体で積極的に取り組まれている。今回、新たに相馬中核工業団地東地区に誘致が決定した企業の今後の予定について伺う。

Q. 誘致企業の操業見通しについて伺う。
A. 今回、N O K 株式会社の子会社で、主に特殊合成ゴムの研究・開発・生産を行うユニマ



にし
畑中昌子 議員
が問う！

相馬野馬追の
今後の展望は!!

市の観光振興について

市最大の観光イベントは国の重要無形民俗文化財に指定されている「相馬野馬追」である。来年度以降、開催日程を5月に変更する検討が進められているが、現状と今後の課題について伺う。また、日程が変更された場合の新たな夏のイベントの企画が検討されているのか伺う。

Q. 相馬野馬追の今後の展望について伺う。

A. 相馬野馬追の日程変更については、相馬野馬追日程変更検討会において検討され、5月の最

民からの具体的な要望を受けていないことから、東京電力に市内への窓口設置を求めることは考えていない。
今後、市民から具体的な賠償等の相談があった場合には、経済産業省の出先機関である廃炉・汚染水・処理水対策現地事務所と内容確認し、相談・調整の上、必要となれば、所定の手続きを取った上で、対応していく。

市道の整備について

Q. 整備計画について伺う。

A. 市は、道路改良事業については、これまで国の社会資本整備総合交付金を活用しながら取り組んでいる。現在は、平成31年度から令和5年度までの5か年の社会資本総合整備計画に基づき整備を進めている。

同計画の最終年度である本年度においては、粟津線、本笑地区の東部19号線、和田地区の東部136号線、石上地区の中部106号線の計四路線において道路改良を進めている。
市は、令和6年度から令和10年度までの次の5か年の整備計画について、各地区からの道路改良要望を踏まえ、生活の安全性や交通量、周辺の土地利用状況などを十分に考慮し、緊急性の高い路線を優先して位置づけ、年度内に策定することとしている。



動画は
↑こちらから↓

その他の質問

○観光について

動画は
↑こちらから↓

Q. 中核工業団地の空き区画活用の展望について伺う。
A. 相馬中核工業団地は、合計652ヘクタールであり、一般のユニマテック株式会社への売却により東地区の全区画が分譲済みとなった。現在、西地区18、4ヘクタールが分譲中で、すでに複数の引き合いがあり、鋭意、誘致活動に取り組んでいる。企業誘致活動については、各種企業立地セミナーへの参加や関係機関との協力を通じて進め、新たに進出に関心を示す企業があれば、積極的に訪問を行って誘致に努めていく。



相馬野馬追行列の様子

動画は
↑こちらから↓

終土、日、月とする案が上申されている。今後、文化庁との協議を行い、国の重要無形民俗文化財としての指定が継続される場合には、来年度からの日程変更に向けて進めていくこととなる。
市としては、日程変更について、近年の記録的な猛暑を受け、相馬野馬追の存続に関わる問題として、やむを得ないものと考えている。
今後も相馬の伝統である相馬野馬追を守り、継続していくために、相馬野馬追執行委員会と連携し、対応していく。

Q. 今後の夏の観光イベントについて伺う。

A. 相馬野馬追の日程は決定されていないが、もし日程が変更となった場合には、7月の観光客減少を防ぐため新たな集客イベントの創設も必要であると思われる。その場合は、相馬商工会議所、市ホテル旅館組合、市観光協会、区長会等と協議をしていく必要があると考えている。

市としては、原釜尾浜海水浴場を中心に、浜の駅松川浦、磯部水産加工施設、道の駅そうまと連携した周遊イベントを夏期に開催するなどして、集客数の増加につなげたいと考えている。